

「雑草イネ(赤米)」の混入にご注意ください！

雑草イネ(赤米)とは、玄米が赤褐色の雑草化した「イネ」です。
紫米などとは異なり、簡単に脱粒します。
雑草化していても「イネ」のため、
通常対策ではうまく減らすことができず、防除にはコツが必要です。
通常玄米に混ざることによって品質を落としたり、減収させてしまいます。

中島地区、
井上地区で
発生しています



ノゲが赤く色づいている



玄米の色は褐色



籾が褐色を帯びるものも

雑草イネの怖いところ・・・

- 数年で一気に広がり栽培イネの品質・収量が低下します
地面に落ちた籾は、翌年の発生源。放っておくと数年では場一面に広がります。
- 一度広がると根絶が困難
地域内で広がると、絶やすまでに長い年数と多大な労力が必要となります。

雑草イネの対策は・・・？

- 発見したらすぐに対策！
一度広がると、絶やすまでに長い年数と多大な労力が必要となります。
- 秋起こしはしない
収穫後、秋の田起こしはしません。地面に落ちた種を冬の低温で凍み枯します。
- 代かきは丁寧に 移植時期は遅めが良い
複数回の丁寧な代かき、6月以降の移植が、雑草イネ対策には効果的です。
- 効果のある除草剤を使用する
「効果のある除草剤」は、JAや支援センターに聞きましょう。
効果のある除草剤を、代かき直後から7～10日間隔で3回使用します。
- 発生している田んぼの作業は一番最後にする
発生拡大を防ぐために、機械等を通じて種を他の田へ持ち込まないようにする。

雑草イネを見つけたら、
ご連絡をお願いします。

お問い合わせ先

長野農業農村支援センター TEL :026-234-9536

JAながの須高ブロック TEL :026-245-0153

(070-1541-6152 (中村))

【知ってほしいこと！】

- ☆田んぼではどんどん増え、何も対策をしないと、本物の白いお米は減収します！
- ☆赤米の種子は、作業などに伴い、土と一緒に移動して拡散します！
- ☆対策を続けていれば、目に見えて減少します



この地域では背が高く、粳の先端に赤い毛を持つタイプが多いです。

【これからできる対策！】

- できるだけ田植えを遅くする。6月以降が良い。
(芽生えたものを代かきで練り殺す)
- できるだけ田植えを遅くする。発生水田の作業は最後に。
(機械による拡散防止！)
- 浅水の代かきが練り殺しに効果が高い。
荒代・植代を出来るだけ丁寧に。

遅植えを心がけ、
代かきを丁寧にやれば、
除草剤も、抜き取りも
必要回数が少なくなります。

- 効果的な除草剤を使用する。JAや支援セに問い合わせる。
- 効果的な成分を含む除草剤を約10日毎に3回散布。
- うね間が見えているうち(6月中)に、
株間、うね間に生えているイネは抜き取る。
- 赤米は出穂後2週間で脱粒するので、出穂したら株ごと刈り取る。

- 秋起こし・冬起こをししない！ワラは燃やす。
⇒凍み、鳥や虫による食害で落ちた粳はかなり減ります。
⇒起こせば種子が埋まり、2～3年先も発芽してきます。